

新宮山彦ぐるーぷ第2203回

行仙宿補給路に第3ベンチ設置など

◇実施日 10月8日(土)

曇

◇参加者 梶野照雄

1名

行仙宿補給路の第2ベンチと行仙宿の間に、腰を下ろして休憩する場所が欲しいと要望があったので、21番鉄塔の先に第3ベンチを設置した。

午前10時に登山口に着く。階段横のホースから水が出ていない。取水している樋が外れているようだ。水場の修理は後にして、ベンチ用に足場板を一枚出して両端を35cmずつ切った。切った2枚はベンチの足に、座面は130cmになった。



水は出ていない



足場板を切る



穴あけ

チェーンソーや工具、足場板をモノレール積み込んで登りだす。モノレール終点で間伐材の中から軽そうなものを選んで半割にする。背負子にベンチの足と工具類、鉄筋2本を括って21番鉄塔へ向かう。21番鉄塔を過ぎたところで木陰になりそうな場所の斜面を少し削って足を置いてみる。大きな岩が無く、簡単に掘ることが出来て一安心。背負子を持ってモノレール終点へ向かう。

座面の板と半割丸太を担いで現場に戻る。座面の長さに合わせてもう片方の足を立てて座面をコーチスクリユーで固定する。足の前方に鉄筋を打ち込み、アルミ板をネジ止めして足と鉄筋を固定した。



足を立てる

ベンチ完成

背もたれを付ける

12時を過ぎていたのでベンチに座って昼食を摂る。食後、背もたれ用の杭を取りに伐採跡地に降りて、杭2本を持って現場に戻る。杭をベンチの後ろに打ち込み、半割丸太をネジ止めして作業終了。座面は少しだけ後ろに傾けて、前方に体が落ちないようにした。

前の鉄筋と後ろの杭で支えたので、しつかり固定することが出来た。工具をまとめて登山口に降りる。ハンマードリルやアルミアングルなど、水場の補修に必要な道具をモノレールに積んで旧車庫跡まで登り、水場に降りた。



樋の状態

ハンマードリルなど

アングルに取り付け

水場の樋は下にズレて水流から離れていた。一旦樋と下に積まれていた岩を取り除き、アルミアングルを20cmほど切って、岩に穴を開けて取り付けの準備をする。ハンマードリルで穴を開けると、岩の表面が簡単に剥がれる。長年水流にさらされていたので、表面が侵食されているようだ。ハンマーで叩いて表面の柔らかい部分を落とし、プラグアンカーを入れてアングルを固定、アングルに樋を繋いだ。アングルを伝う水が樋に流れ込むようになったので、先の樋もすぐに一杯になった。岩の表面がすぐに割れるので、表面を削って水流が一ヶ所に集まるようにすることも可能だと思う。旧車庫跡まで戻って下山した。



補修後の樋



下山



流れるようになった

ベンチ設置のあとは行仙小屋迄行くつもりだったが、水場の補修があったので小屋迄は行かずに帰宅した。
(記：梶野)

行動タイム

10:00 補給路登山口 10:35→11:20 ベンチ設置場所 13:12→13:35 補給路登山口 13:41→13:45 水場 14:32→14:46 補給路登山口